

ひけつ4 じょうほう 情報を上手に発信しよう

(20)「情報が正しいかどうかを確認するには…」

●テーマの背景

インターネットには、一次情報だけでなく、二次情報、一次情報に自分の意見や推測を加えて流される情報、うわさ話など、さまざまな情報が入り交ざっています。大人ですら、どの情報が正しいのかどうか判断するのがむずかしいのが現状です。

子どもは、インターネット上の情報は正しいと考えてしまいがちですが、ネット上の二次情報を信じないで、一次情報を発信しているところから正しい情報を入手する力を身につける必要があります。

●行動目標、学習目標

行動目標	<ul style="list-style-type: none">・インターネット上の二次情報を信じないで、行動できる。・一次情報を発信しているところから正しい情報を入手することができる。
学習目標	<ul style="list-style-type: none">・一次情報、二次情報のちがいを理解する。・確実な情報を持っているところがどこかを理解する。



一次情報とは

一次情報とは、情報の発信者が直接見た、聞いたというように、発信者が直接見聞きした情報のことです。

二次情報とは

それに対して、二次情報とは、インターネットで見た、テレビで見た、新聞や雑誌に書いてあった、友だちが言っていたなど、直接自分が見聞きした情報ではなく、他の人から得た情報のことです。

一次情報を得るには、情報を発信している企業や団体などの公式サイトにアクセスしましょう。公式サイトとは、企業や団体などが直接運営するサイトのことです。

●指導案

所要時間	学習活動	ファシリテーション観点からの指導上の注意点	ネットリテラシーの観点からの指導上の注意点
導入 ① 5分	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに自己紹介する。(名前、学年、好きなアニメなど) 子どもが答えたアニメやキャラクターをネット検索する。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の関心を引き出す。 学習会の目的を共有して、意識をそろえる。 グループに分かれる。 自己紹介用のワークシートを配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの興味のあることをネット検索し、インターネットへの関心を引きつける。
導入 ② 5分	インターネットやソーシャルメディアをどのように使っているか、参加者同士で意見交換する。	<ul style="list-style-type: none"> 双方向のコミュニケーションを行い、参加者それぞれの気づきや経験を元にして話を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者のインターネットについての知識レベルを合わせる。
展開 ① 10分	【コンテンツを使った学習】 <ul style="list-style-type: none"> SNSを使ったことがあるかを確認する。 「情報が正しいかどうかを確認するには…」のアニメコンテンツを見る。(アニメコンテンツを表示する。) 	<ul style="list-style-type: none"> SNSを使ったことがあるかを確認し、当事者意識を持てるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> SNSについての子どもの理解度を確認し、身近に感じていることを引き出す。
展開 ② 20分	【ワーク】 <ul style="list-style-type: none"> 設問に答えながら、自分だったらどのように行動するかを考える。 講師からの質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身のまわりの事を考えて、行動を考えさせる。ワークシートに記入する。 	
休憩			
展開 ③ 30分	【グループディスカッション】 <ul style="list-style-type: none"> どんな選択肢を選んだか、その理由をグループで話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の気づきを全体で共有することで、新しい発見を生み出す。 話合いの学びを深めるために基本となるルールを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報が正しいかどうか確認するにはどうしたらいいかを考えさせる。
展開 ④ 10分	【解説・クイズ】 <ul style="list-style-type: none"> 情報が正しいかどうかを見きわめる方法を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 解説ページを見ながら、学んだことを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 解説ページを確認する。 簡単なクイズを出題し、理解度を測る。
10分	【まとめ・振り返り】 <ul style="list-style-type: none"> 学んだことをワークシートに記入する。 気づきを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りをするすることで、感じたことや気づきを定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことを日常生活の中で生かすように促す。

●講師シナリオ案

テーマ	講師シナリオ案	発問のポイント
導入①	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さん、こんにちは。私は、〇〇です（自己紹介する）。 ・次は皆さんに自己紹介してもらいます。 ・自己紹介用のワークシートに名前、学年、好きなアニメやキャラクター、好きなもの（色、食べ物など）を記入してください。 ・名札に学習会で読んでもらいたい名前を書いてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者それぞれの関心、意欲を引き出す。 ・お互いの関係性を作る。
導入②	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんは、インターネットを使っていますか。どのように使っていますか（メール、音楽のダウンロードなど）。 ・何を使ってインターネットにつながっていますか（携帯電話、スマートフォン、パソコン、ゲーム機など）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一方的な投げかけではなく、双方向コミュニケーションを行い、参加者それぞれの経験をもとに話を広げる。
展開①	<p>【コンテンツを使った学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皆さんは、SNS で情報を発信したり、他の人が発信した情報を見たりしていますか。 ・これからアニメコンテンツを見ていただきますが、皆さんがインターネットを使っているとき体験しそうなエピソードを扱っています。 ・まずは、登場人物の紹介です。 ・このエピソードの主人公のショウくんは小学5年生。学習用タブレットを使っています。友だちのタクミくんと一緒に公園にでかけました。アイドルがロケに来ているという情報をネットで見たからです。しかし、アイドルは公園に来ていません。 ・それでは早速アニメコンテンツを見てみましょう。（アニメコンテンツを見せる。） ・アニメコンテンツの最後に、選択肢が出てきます。自分だったらどんな行動をとるか、主人公になったつもりで考えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS で情報を発信したり、他の人が発信した情報を見たりしたことがあるかを確認する。 ・まずはイントロムービーを見せる。
展開②	<p>【個人ワーク】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いかがでしたか。コンテンツを見てどう思いましたか。感想を聞かせてください（子どもの感想を聞く）。 ・（子ども：インターネットの情報は正しいと思ってしまう。）ネット上の情報は、正しい情報も間違った情報も混ざっているので、どのように見分けるかを学んでいきましょう。 ・皆さんはどれを選びましたか。①を選んだ人？ ②を選んだ人？ ③を選んだ人？（手をあげてもらおう） ・それぞれの選択肢を選んだ理由もきかせてください。 ・選択肢にない行動をとるといふ人はいますか。そして、その理由も聞かせてください。 ・ショウくん、タクミくんはどうすればよかったのでしょうか。ワークシートに、自分がショウくん、タクミくんだったらどんな行動をとるかを書いてください。その理由も書いてください。（ワークシートを配る。約10分）。 ・（約8分経過したところで子どもに尋ねる）ワークシートに記入できましたか。（子ども：まだー） ・では、もう少し時間をとりますね。（大多数の子どもが記入できていればOK）。 ・ワークシートに記入できましたか。ここで、休憩を入れます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの回答を受け入れる。 ・どの選択肢を選んだのかを挙手してもらい、尋ねる。 ・子どもがワークシートに記入しているかどうかを確認し、記入できない子どもに対して、わからないことがあるかを尋ねる。 ・途中の段階で、ワークシートに記入できたかどうかを尋ねる。
展開③	<p>【グループディスカッション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは、グループごとにワークシートに記入したことをもとに話し合ってみましょう。 ・グループごとに司会進行役、記録係、発表者を決めてください。 ・まずはワークシートに書いたことをグループの中で話してください（どの選択肢を選んだか、その理由、選択肢以外の行動、その理由）（約15分）。 ・いろいろな意見が出てきましたね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発想力が豊かですぐに意見を言える子どももいれば、そうでない子どももいるので、考える時間を設ける。 ・基本的には一人ずつ意見を聞く。発言していない子どもには、意識的に質問を投げかける。

	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに発表しましょう（発表するグループの順番を決める。発表時間約 10 分）。 	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに合意形成の練習をする。 全体で意見を共有する。 発表に対して、ほめ言葉でコメントする。
展開④	<p>【解説・クイズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 解説ページを見ながら、学んだことを確認しましょう。 正しい情報を得るには、情報の発信元である会社、団体などの公式サイトを確認すること。 ニュースが正しいかどうかを確認するには、ネットニュースではなく、通信社やマスコミのホームページを確認すること。 個人のブログや Twitter からの情報は、正しいかどうかを自分の目で確認しなければなりません。 ここで、クイズを出します。「サッカーの日本代表選手」を調べたいとき、皆さんはどのように行動しますか（子どもに問いかける）。 そうですね。「日本サッカー協会」の公式サイトを確認すると、日本代表メンバーが発表されています。 それでは、「中東で大きなテロ事件が起こり、死傷者の数を知りたいとき」はどのように調べますか（子どもに問いかける）。 通信社、テレビ局や新聞社などのホームページを確認すると、最新の情報を得ることができます。 	<ul style="list-style-type: none"> 解説ページを開く。
まとめ・振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 山本家・鈴木家スマホのひけつを確認しましょう。 最後は皆さんに、今日学んだこと、感じたことを振りかえってもらいます。 「振り返りシート」に記入してください。 「振り返りシート」に記入できましたか。感想を聞かせてくれますか。 皆さん、とてもいい気づきがありましたね。これからもネットを使っているとき、困ったことがあるかもしれませんが、今日学んだことを思い出して、どのように行動したらいいかよく考えてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 山本家・鈴木家スマホのひけつを開く。 「振り返りシート」を配る。